

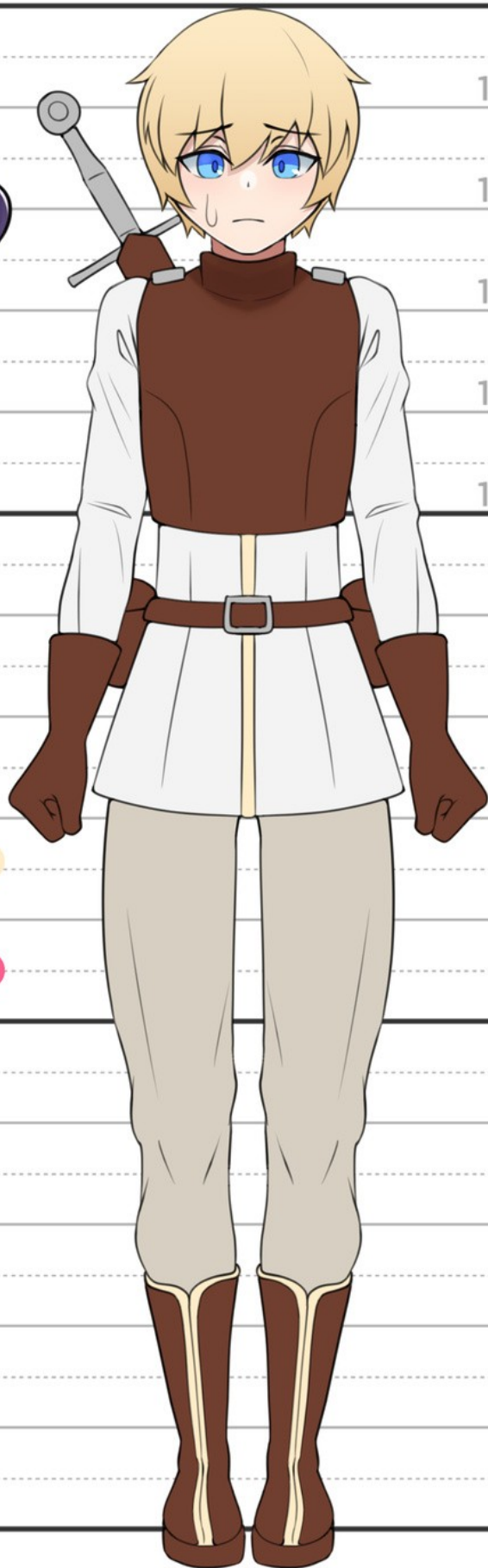
駆け出し冒険者君

身長150cm 15レベル

性格: お人よし・騙されやすい
妙に高給・レベル不問かつ
前金制の怪しい調査依頼を
受けてしまう。



TSラバー触手スーツ(仮)
首の部分までで約168cm
頭部が足されるので
合計身長は約190cm





このダンジョンには女性しか入れない呪いがあるのは知ってるよね？

そこで君にはこの天才の私が開発したスーツで女体となって探索してもらう！

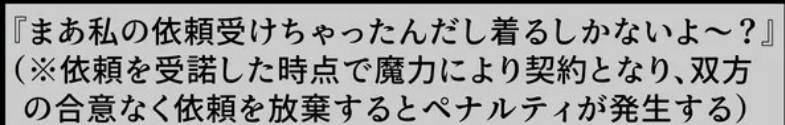
特殊な魔物と魔力を組み合わせた一点もので、元にした魔物のせいで少々ボリュームな身体になるが我慢してくれ。でも肉体にはスーツ内部の触手達がびっちり張り付き、**五感**は**ばっちりつま先**どころか**本来存在しない乳の先**まで同期して感じ取る事ができる……

このスーツが肉体そのものになると言って差し支えない！

ただし問題点が一つある……**着用者との感覚の同期を追求したあまり、長時間着用しているとスーツと着用者が完全に一体化してしまう。**

そしてこのダンジョンは入場と同時に最奥に転送され、そこから地上に向けての脱出を兼ねた探索となる。つまり**時間内に探索し、アイテムやデータを収集して脱出。**その後ここで専用の施術を受けなければ君は一生その身体になってしまうのだ！

(いや問題点がデカすぎるでしょ……)



触手が身体に絡みついて肌に吸い付く……ちょっと気持ち悪いような……くすぐったいような感じが……
(でも確かに着ただけで指の先まで一気に感覚が広がってる……“技術は”凄いな)

全然面白くないですよ！



凄い……腕の長さも違うはずなのに本当に指の先まで感覚があるし動く…。

でも…うう……生暖かいしぐちゅぐちゅしてる……

『ぐちゅぐちゅするのは感覚を同期する最初だけですぐ気にならなくなるよ！そしてそのラバー特殊コーティングは、その辺のモンスターでは破壊不能な頑丈さだぞ！』

(本当かよ……それにしても全然足元も見えないし重い…)

これ胸の部分とか本当に着てるだけなんですよね……？
ちゃんと脱げるんですよね……？

『…まあ一時的なもんだから大丈夫だって！』



——んっ……全身入りましたけど……
これは……

『自分で作っておいてだけど凄いねー！
190はある身長に、ラバーのぴっちり光沢で
強調されたプリップリのハリのある身体！
そして何より一抱えもあるバカデカイ巨大
な爆乳！乳首までパンパンに張ってるね！』

そんな言い方しないでくださいよ……

『いやいや！元々中性的な顔の君にぴったり
で感動だよ！街の男どころかダンジョンのモ
ンスターだって繁殖のために君を見逃さな
いさ！』

(っ…………何をふざけた事を…………でもこんな
身体で…………もしも捕まったりしたら…………)

『お？ちょっと汗ばんできたね！ちゃんとスー
ツが新しい肉体として機能してる証拠だよ！』



改めて自分の身体を見下ろす——

(やっぱりこの胸のせいで足元なんて見えない……
見えないけどお尻の重さと太もものぶつかる感じも…
きっと凄いサイズになってるんだろうな……全身が大
きくなって少し筋力とかがついてるのかな？走れない
ほどでは無いけどバランスが……)

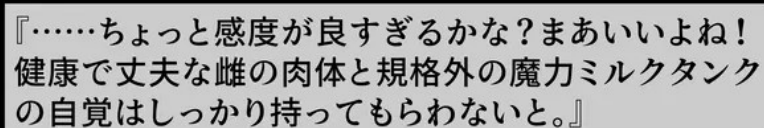
これ本当にこんな体型にする必要あるんですか……？
もっと動きやすい身体とかできなかったんですか……

『むっ？私の技術とそのスーツの性能を疑ってるね？』

いやそういう事じゃなくて……

『ふふん。そのパンパンに張ったデカパイはデメリット
だけでは無い事を体感してもらおう。』

え？——





呪いの装備か……憑りつかれないように気をつけないと……！

牝牛のカチューシャとベル(呪いの装備)
呪われた装備に自我が宿り、自身で動き宿主を探すようになった魔物。
憑りつかれると状態異常:牝牛化が発生し、大量の母乳の生産に伴う膨乳と強い搾乳願望に襲われる。
呪いの装備の解除は特殊なアイテムが必要であり、対策もなく一度憑りつかれてしまえば搾乳の快感に囚われて冒険どころではなくなってしまうだろう。



ガラングラン——ンモォォ♡
ダンジョンにカウベルの音と牛の
ような声が響く。
呪いの装備に憑りつかれ、さらに
巨大になった胸からは大量の母乳
が噴き出す。射乳にはかなりの快
感が伴うようだ。

くそっ……この呪いの装備…っ♡
もっおっ……♡おっぱいが止まらな
い……♡んっ……♡ふうっ♡
また……これ以上大きくなる前に
搾らないと……♡こんな事してる
場合じゃないのに……っ♡
んもっおっおっ♡♡♡

さらに大きくなった胸と搾乳の快感
に翻弄され、探索どころではない身
体にされてしまった……
result……牝牛冒険者



小さくて弱そうだけど魔物だし油断は禁物……
魅了攻撃には気を付けなきゃ……！

インプの弓兵
近接での戦闘能力は低いけど、刺さった相手を
魅了する矢を放つ。魅了の効果や強度は命中
した部位によって異なる。
魅了により動けないところへ近づかれると、淫
魔のやり方で堕とされてしまうだろう。



おっ♡お願いしますっ♡インプ様っリング外してください♡

魅了矢に撃たれ、自身の身長の半分も無い小柄なインプに対して無様な降伏ポーズをとる。乳首に付けられたリングは絶頂防止のマジックリングであり、魅了をかけた相手にしか外せない。

魔物の中では弱小とされるインプに淫紋まで付けられてしまった彼に、探索など不可能であろう。今や豊満な身体を玩具のように気まぐれに弄ばれる、インプの下僕であった。

魅了漬けにされてしまい、絶頂防止リングを付けられてインプに屈服してしまった……

result……インプの下僕



なんだこの輪……リング？輪の中が怪しいから気をつけないと。

ポータルリング

本来は魔道具として、人工的に作られた魔物とされる。能力や生態に謎の部分が多く、複数体で現れると危険。

通した物体を切断することなく別の次元や場所に転移させる能力を持つ。リングのサイズは多少なら収縮可能。

ダンジョンの外に持ち出しはできない。



くそっ……!このっ!

彼の四肢にポータルリングが装着され、文字通り手も足も出ない状態にされてしまった。反撃しようと身じろぎするも、長い手足を失い強調された爆乳が揺れるのみである。

反撃する術を持たず、頑丈で豊満な女体——
ダンジョン内で繁殖する魔物にとってはこの上ない極上の獲物であった。

——そこへ目ざとく、魔物では最下級の触手がやってくる。
単体では初級の冒険者どころか一般人にすら退治されるような、ろくな知能も持たず繁殖の本能しかない矮小でひ弱な存在。

しかし今この状況ではどちらが上で下どちらがなのか、誰の目にも明らかであった。

やめろ!来るなっ……!普段ならお前みたいな雑魚触手なんて……!ひっ……!



最下級の触手相手に手も足も出ず、繁殖用の孕み袋として利用される。触手達にとっては最上の繁殖用の肉袋として、ミルクサーバーとして永らく活躍する事だろう。

result……最下級触手の孕み袋



石像に何か憑りついてるのか……嫌な加護を感じるな。気を付けないと。

豊穡の邪像

本来は豊穡の象徴として崇められていた像に悪霊が憑りつき、魔物として独りで動き出したもの。

悪霊により豊穡の加護が暴走しており、本来の造形に比べ下品とも言えるほど豊満な曲線へと変化している。

邪像の歪んだ寵愛を身に受けてしまえば、『豊穡の象徴』として崇められる、身動きもとれぬほど豊かな乳房へと変えられてしまうだろう。



し、しまった、邪像の加護が身体に——

隙を突かれ、邪像の加護を与られてしまう。

その瞬間元々頭より大きかった爆乳が、さらに上半身を覆い隠すレベルへと一気に膨らみ始めた。

ひっ♡?!なんだこれっおっぱいが大きくっ?!
おっ、重いつ!

どぶんっ♡ムクムクッ♡と成長を続ける乳肉を慌てて支えるも、既に視界のほとんどは胸に埋め尽くされ、その中にはじんわりと『豊穣の象徴』であるミルクが溜まりつつあった。

くっ…♡胸が重くて動きにくい……しかも何か胸の中に溜まっていくような感覚が…っ♡
でもまだ魔物を倒してこの加護さえ解ければ



うう……♥
もう止めてえ……っ♥

その後も邪像の寵愛を一身に受けた彼の乳肉は、もはや身体よりも大きく身動きもできないほどにでっぷりと肥大していた。

そしてその先端の一抱えもあるパンパンに張った乳首からは常に濃厚なミルクがたっぷりと湧き出ており、周囲は甘ったるい母乳の匂いで満たされていた……

そんな彼の姿を嘲笑うかのように邪像が揺れると、またムクムク♥とさらに彼の乳房は膨らみ始めるのであった。

ひっ……♥
またさらに大きくなってる……？

今後もダンジョン内でのミルクサーバーや繁殖の苗床として、豊穣の象徴として晒され続けるだろう。
result……豊穣の象徴



トランクケース……？
何か魔法が施されて暴走しているのか。

封印トランク

本来は荷物の収納用として開発された魔道具が暴走し、魔物と化したもの。一度封印されると内部からの脱出は難しい。単独でのダンジョン探索が危険であると言われる理由になる典型的な魔物。

内部は異空間となっており、本体のサイズを超えた物体も収納可能。本来の用途として収納物を劣化させないように内部には幾重にも魔法がかけられており、自傷はもちろん対策され、加齢もせず精神的に発狂することもないとか。

本能として自身の中に封印する物体を求めて彷徨うが、収納した物を周囲に自慢するように一部分を外部に晒す癖がある。



状態：封印
魔法のトランクに爆乳を残して
封印されてしまった……

……?!……!!?
(何が起きた?!あれ?声も出せない?!)

一瞬の隙を突いて封印トランクに爆乳以外を封じ込められてしまい、声すらも出せず無様にその乳を揺らすしかできない存在へと変えられてしまった……

運よく善良な冒険者に発見してもらえば救助される可能性もあるが、妖しい魔物が蔓延るこのダンジョンでその可能性は極めて低い。

物好きたちのジョークグッズとして、見世物小屋での嘲笑の対象として、あるいはおぞましい魔法の実験道具として、渡る先々で無様な痴態を晒すことになるだろう。

result……魔道具への封印



スライムか……

今更警戒するような魔物ではないけど、この身体にこんな変なダンジョンでは油断できないな……

媚薬スライム(アナル)

肛門から入り込み、体内の魔力を吸収し増殖するスライム。魔力の吸収を抵抗されず行うために、スライムそのものが高濃度の媚薬になっている。

体内で大量に増殖し、媚薬を擦り込まれた尻穴からスライムを大量に排泄する快感は依存性があり、長時間媚薬で調教された場合は自制も効かず、尻穴を弄る事しか考えられなくなってしまうだろう。



一瞬の隙を突いて肛門から侵入したスライムにより、尻穴と腸内にたっぷりと感度上昇の粘液を擦り込まれてしまう。

ふ〜っ♡ふ〜っ♡くそっ……♡
この変態スライム……っ♡
早く出ていけ……っ♡この……♡

必死にいきみつつ、自らの手で尻穴を拡げると、『ぶりゅっ♡』と下品な音を立てて大人の握り拳ほどもあるスライムが顔を出す。

おゝほゝおっ?!♡……うゝっ♡ふ〜っ♡

粘液を擦り込まれミチミチと拡がる肉厚な尻穴は、完全に快感を貪る性器へと改造されていた。

おゝっ……?♡そろそろ……んっ♡出る…?
よし……っ♡ゆ、ゆっくり——



オッ♡♡♡?!

~~~~~♡♡♡

ブリブリと下品な音を立て、体内で増殖したスライムが一気に排泄される。

おッ~♡♡おしりっ♡めぐれるッ♡  
ごめんなざいい♡♡とまっでえ♡

情けなく静止を懇願するが止まらず、容赦なく開発された尻穴から極太の大量ゼリーがもりもりとひり出される快感。彼の理性や今後の自制心を破壊するには十分すぎるものだった。

たっぷりとスライムに開発・調教された尻穴は感度が上昇し、もはや快楽を貪るための性器へと改造されてしまった。

通常の排泄の際の絶頂はもちろん、尻穴の快楽が忘れられず常に自身で弄ぶ事になり、もう探索どころではないだろう。

result……尻穴狂い



淫魔……こんな身体だから普段以上に気をつけないと危険だな。  
(見てるだけでちょっとドキドキする…)

ふたなり淫魔  
オーソドックスな両性具有の淫魔。通常のダンジョンで見られる個体よりも特に女体に対して強力。

敗北してしまえば淫魔のテクニックと魅了で即繁殖  
奴隷へと堕とされてしまうだろう。



雌の身体を持つ冒険者が淫魔に敗北した末路は決まっていた。

おっ♡おっ♡おっ♡ごめんなさいいい♡  
やめてっ♡  
こんな感覚っ♡知らないっ♡

(逆らえないっ♡身体が淫魔様のチンポに屈してっ♡)

おっおッ?!♡おっぱい飲んじゃダメっ♡  
さらにおっぱい大きくなっちゃうッ♡  
赤ちゃん作る準備しちゃってるっ♡

淫魔によって弄ばれ、肉体が子を孕むために適した身体へと作り替えられていく。彼に抵抗する術は無かった。  
徹底的に雌としての喜びを教え込まれ、繁殖奴隷に堕とされていくのであった――



——その後、ダンジョンの一角、通称『繁殖小屋』

えへっ♡ご主人様ぁ……♡早く次の交尾しましょう  
よお♡

淫魔による徹底的な調教と、複数の魅了にどっぷりと漬けられた彼の目に光は無く、甘ったるい声で交尾をせがむだけの孕み袋と化していた。

スーツの効果もあってか頑丈で体格も良く母体として優秀であり、興味本位での交配実験や非人道的な魔術の被検体として大いに未永く活躍してくれるだろう。

result……ダンジョンの孕み袋



魔術師か。  
外では見たことない術式だな……

#### 悪趣味な魔術師(縮小)

このダンジョン特有の術を使用する魔術士。  
本来は弱体化やデバフとして使われていた魔術を  
自身の性癖に沿って改造した。

殺意こそ薄いがデバフに苦しむ冒険者を観察する  
悪癖があり、術を受けてしまえば彼女の観察対象  
にふさわしい身体にされてしまうだろう。



しまった——  
魔術師の魔法が直撃してしまう。

……？ ダメージは無い……？

痛みは無いが、明らかに地面に近い。ダンジョンの壁も  
対峙していた魔術師も大きく感じる。

——身体が縮んでる?!

『あはっ♡かわいい身体になりましたね♡立派なおっぱ  
いの比率はそのままですよ。私、デバフに苦しむ冒険者  
さんの姿を見るのが好きなんです。じゃあ私はこれで  
失礼しますね♡』

ま、待てっ！身体を元に戻せ！

必死に追おうとするが、こんな身体で追えるわけもなく  
見失ってしまった……

今後は弱体化した身体で、苦難の道を歩むのであった。  
result……ショートスタック化



魔導蛇口…の魔物か？

街の屋台でフルーツジュースとか作ってるアレだよな？何を使って攻撃してくるんだ？

比較的ポピュラーな魔導具である魔導蛇口がダンジョンの瘴気にあてられ独りで動く魔物と化したもの。

元来は取り付けられた物の内部から特定の液体を吸い出す魔導具であり、民間では果汁の抽出や水回りのトラブルの解決など地味ながら生活の中で活躍している。水源側の形状は取りつく物に応じて変形する。

当然このダンジョン特有の変異を受けており、取りつかれると自身では取り外すことも蛇口を捻ることもできず、『特定の液体』が大量に湧く呪いがかけられている。

その豊満な胸に張り付かれ、都合のよい『蛇口』にされる事がないよう注意するべきである。



し、しまった?! こいつ胸に……!

一瞬の隙を突いて魔導蛇口が爆乳の先に張り付き、変形した水源側のパーツが乳首を包み込む。

んっ♥このっ……引き剥がしてやる! —くっ、なんでっ?! 外せないし蛇口も回らない……っ?!

こういった魔導具の変異した魔物の類は外見以上に厄介であり、この魔物も装着されている本人には外すことも蛇口を調整することもできないのだった。

そうとも知らず彼が悪戦苦闘するうちに、キュルキュルと蛇口が独りでに回り始めると——

何この感覚……っ♥  
んっ♥す、吸われてる……?  
いや吸い出されて……  
ま、まさか……っ♥——



おっ?!♥なにこれっ♥  
と、止まってえ♥

張りついた蛇口が回ると、文字通り  
壊れた蛇口の如くミルクがあふれ  
出す――

なんでっ?!♥じゃ、蛇口も捻れない  
しっ♥これじゃ止まらないっ♥

必死に止めようとするが、もはや彼  
の意思では止めようがなく、嬌声と  
甘ったるい母乳の匂いを嗅ぎつけて  
魔物やよからぬ人間が集まるのは  
時間の問題であった。



外せない蛇口に夢中になってるうちに襲われたか、あるいは解除してやるなどと甘い言葉に唆されたか、ダンジョンのあるフロアの一角には来客の絶えないミルクサーバーが鎮座していた。

『うわデッカ♥』『やったー今日は搾れる! この前来た時は濃縮中で搾れなかったんだよね〜』『毎日何リットル射乳せるんだろう……』『この蛇口やダンジョンの魔力と身体の相性がいいんだろうね。まあ牛みたいな爆乳にはお似合いかな。』

むぐう……っ♥おっ……っ♥  
(誰か……っ♥助けてえ……♥もうおっぱい嫌あ……っ♥  
こんな……道具みたいに扱われて……っ♥自分の意思と無関係に射乳する快感で頭おかしくなる……っ♥)

時に一気に蛇口を開けられ大量の噴乳の快感に意識が飛び、時に蛇口をきつく締められ一滴も射乳できずにパンパンに張った爆乳を無様に揺らして開栓を懇願する。またある時は水漏れのように僅かに滴るような射乳しかさせてもらえず、延々と弱火で煮るような快楽に気が狂いそうになる。

彼のミルクサーバーとして、また見世物としての評価は高く、彼の受難はまだまだ続きそうだ。

result……ダンジョンの名物ミルクサーバー



①:時間内に帰還

無事にダンジョンを探索し、時間内に博士の元へと帰ることができた。

『さすが時間内に帰って来たね！  
ダンジョン内の遺物も珍しいのをこんなに集めてくるなんて凄いじゃん！』

へへ……元の身体に戻るために頑張りましたよ。

『その身体には不利なモンスターや  
誘惑も多かっただろうに……  
スーツを脱げるように準備するね！』



『———よーし準備できた！  
これでスーツが脱げるようになったはず！』

ズルりとスーツが身体から離れ、本来の肌と貧相な肉体があらわれる。自分のヘソや肌が正常に見える事にこんな喜びを感じたことはないだろう。

あ……やった！本来の僕の身体だ！

『よかったね！これで元の生活に戻れるよ。  
でもスーツはこっちで保管しておくから！あの身体が恋しくなったらいつでも来てね！』

いや……遠慮しておきます。

『えー、使いこなせば強いと思うんだけどな。  
まあまた依頼するかもしれないからその時はよろしくね！』

エンド①：ノーマルエンド



②:時間オーバーで帰還  
ダンジョンを探索したがモンスターや状態異常に手こずり、博士の指定した時間内に帰ってくることができなかった。

『うーん。  
ちょっと帰ってくるのが遅かったねー。』

うう……あんな変な魔物や状態異常がある  
なんて知らなかった……

『まあ色々ダンジョンから持って帰ってきて  
くれたし、それを使ってスーツを脱げるか  
やってみようか。』

え?!本当ですか?!お願いします!



数時間後——

『よし、スーツは脱げるようになったはずだよ。持ち帰ってくれた情報やアイテムが役に立ったね!』

首元からペロリとスーツの一部が剥がれ始める。

ありがとうございます！  
やった！これで元の身体に戻る！  
剥がれたスーツの端を掴み、  
一気に開くと——



——ぶるんっ♡どぷんっ♡

は……？

光沢のあるスーツがずるりと脱げる——  
しかし出てきたのは貧相な少年の胸板ではなかった。  
そこにあったのは変わらず足元も見えない、はちきれんばかりに巨大に実った肌色の双丘であった。

『うんうん。スーツは無事脱げたみたいだね。身体の方はスーツの形状に合わせて変わっちゃったか。』

え……？



そんなあ……

スーツが脱げると、粘液にまみれた身体の全貌が明らかになる。  
肉体は完全にスーツの形状と同じ、豊満な女体に変化してしまった。  
下に手を伸ばすも当然男の頃の面影は無く、ぴっちりとした割れ目が残るだけであつた。

こんな身体でこれから一生過ごしていかなきゃいけないって事……？嘘だろ……？

『まあなっちゃったもんはしょうがないし、その身体もメリットはあると思うから前向きに行こう！』

うう……この身体のメリットって言われても……



③:ダンジョンで『巻き戻しの紋章』を取得し、敗北とバッドエンドを全て体験してしまう。

『さすが時間内に帰って来たね！  
ダンジョン内の遺物も珍しいのをこんなに  
集めてくるなんてすごいじゃん！』

……っ♡……あ♡

『聞いてるー？あれ、なんか面白そうな遺物も  
使ったみたいだね。』

……え？ はいい……？♡

『まあいっか！とりあえずスーツを脱げるように  
準備するね！』

“巻き戻しの紋章”

特定のダンジョン内でのみ使用可能。紋章を  
取得後、頭の中で念じることによって一定の時間を  
巻き戻すことができる。

肉体や所持品は巻き戻した時間の状態に戻る  
が記憶は残る。経験を活かすこともできるが、  
強烈な記憶や避けられない苦痛は精神汚染や  
発狂、依存症を引き起こすこともあるので注意。



『———よーし準備できた！  
これでスーツが脱げるようになったはず！』

あ……  
ズルリとスーツが身体から離れ、本来の肌と  
貧相な身体があらわれる。

『おー！綺麗に脱げて……どうしたの？あんまり  
嬉しそうじゃないけど。もしかして身体に不調  
とか残ってたりする？』

脳裏に焼き付き、身体にこびりついた、規格外の  
女体で味わった暴力的とも言える快感。  
この肉体を脱いだことで、もう味わうことができ  
なくなったと悟ってしまう。  
その時、彼の中に暗い欲望が芽生えて——

あの……博士……  
一つ『お願い』があるんですが……